

社会から愛され、成長と発展を望まれる企業を目指し、その活動を「環境」「社会」「経済」の3つの報告書で開示します。

企業は、社会の一員です。企業が社会から愛され、成長と発展を望まれるためには、社会の持続的な発展に貢献することが前提条件になります。リコーグループは、「環境」「社会」「経済」のすべての視点から見て、優れた活動を行うとともに、活動に関する情報を適切に開示することが重要であると認識しています。リコーグループは、「環境」「社会」「経済」の3分野の報告書で、情報を開示しています。当報告書は、リコーグループの「環境経営」に関する情報を開示し、関係者（ステークホルダー）の皆様とコミュニケーションを図り、環境経営の改善に役立てることにより、持続可能な社会づくりに貢献することを目的に発行しています。

アニュアルレポート

- ・経営方針
- ・経営成績
- ・財政状態



経済

社会的責任経営報告書

- ・CSRの考え方
- ・誠実な企業活動
- ・環境との調和
- ・人間尊重
- ・社会との調和



社会

環境経営報告書

- ・環境経営の考え方
- ・製品に関する取り組み
- ・事業活動に関する取り組み
- ・環境経営の基盤
- ・環境コミュニケーション/
生物多様性保全



環境

■ 関連する企業情報の掲載サイト

- ・環境経営情報
<http://www.ricoh.co.jp/ecology/>
- ・社会的責任経営情報
<http://www.ricoh.co.jp/csr/>
- ・IR(株主・投資家向け)情報
<http://www.ricoh.co.jp/IR/>
- ・社会貢献情報
<http://www.ricoh.co.jp/kouken/>
- ・情報セキュリティ情報
<http://www.ricoh.co.jp/about/security/>

■ 報告書ガイドラインについて

当報告書の編集にあたり、GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3版(G3)」、同「生物多様性参考文書」、環境省「環境報告ガイドライン2007年版」を参考に開示項目の過不足チェックを行い、可能な限りの開示を行いました。

● 報告書の構成変更について

2008年度に開始した環境行動計画(～2010年度)の体系にあわせ、2009年版より製品ライフサイクルから見たステージごとの構成に変更しました。これにより、「原材料・部品調達」「非生産」「お客様」「物流・輸送」の各項が新設され、ライフサイクル全体にわたるリコーグループの活動をより詳しく紹介できるようになりました。

● 報告書の印刷見合わせについて

環境経営報告書2009では、印刷冊子版を発行せず、PDF版のみの発行となりました。リコーグループ全体で、可能な限り経費を切り詰めた結果です。しかし、これは単なる一時の緊急避難ではなく、WEB(PDF、HTML)と紙(冊子)などの複数の媒体を有効に組み合わせた新たな環境コミュニケーションを創造する道の始まりと位置づけています。

■ 表紙の写真：ジャイアントパンダ

中国北部から南部にかけての山岳林に生息するクマ科の動物(身長：120～190cm/体重：85～120kg)。現在の個体数はおよそ1,600頭で、絶滅が危惧されている。リコーは2001年から2007年にかけて、中国・四川省の生息域回復プロジェクトに参画。

報告組織の概要

株式会社リコーは、1936年2月6日に日本で設立されました。リコーグループは、株式会社リコーおよび子会社302社、関連会社9社で構成*されており、世界5極（日本、米州、欧州、中国、アジア・パシフィック）において、複写機やプリンターなどの事務機器を中心に、製品の開発・生産・販売・サービス・リサイクルなどの事業を展開しています。全世界での従業員数は、約108,500人です。

* 関係会社の範囲は米国会計基準に拠っていますが、日本の会計基準における関係会社の範囲との差異は僅かです。

リコー本社事業所

〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1 リコービル
代表電話：03-6278-2111
ホームページアドレス <http://www.ricoh.co.jp>

主な事業内容

画像&ソリューション分野

●画像ソリューション

デジタル複写機、カラー複写機、アナログ複写機、印刷機、ファクシミリ、ジアゾ複写機、スキャナ、MFP（マルチファンクションプリンター）、プリンターなどの機器および関連消耗品・サービス・関連ソフトなど

●ネットワークシステムソリューション

パーソナルコンピューター、サーバー、ネットワーク機器、ネットワーク関連ソフト、アプリケーションソフトおよびサービス・サポートなど

産業分野

サーマルメディア、光学機器、半導体、電装ユニット、計量器など

その他分野

デジタルカメラなど

リコーグループの主なブランド

リコーグループは、RICOHおよび下記の各ブランドのもとで、製品・サービスを提供しています。

RICOH

SAVIN®

LANIER

nashuatec

Rex-Rotary

Gestetner

infotec

RICOH | IBM
InfoPrint Solutions Company™

IKON Document Efficiency
At Work.
A RICOH COMPANY

報告組織の概要/主な事業内容/目次	2
世界一の環境経営を目指して	3
2008年度 環境経営の概況	5
社会に対するコミットメントと社外からの評価	7
環境経営の全体像	8
編集方針	8

特集/環境経営の環を拡げる

パートナーシップで築く持続可能な社会	9
資源循環型社会に向けたものづくり改革	11

環境経営の考え方

私たちの目指す姿(Three Ps Balance)	13
持続可能な社会実現のためのコンセプト(コメットサークル)	14
2050年長期環境ビジョンに基づく中長期環境負荷削減目標の設定	15
2010年度までの環境行動計画と2008年度の成果	17

製品に関する取り組み

製品開発の考え方と環境技術開発	19
省エネルギー・温暖化防止	21
省資源・リサイクル	24
汚染予防	27
原材料・部品調達	31

事業活動に関する取り組み

生産 省エネルギー・温暖化防止	33
生産 省資源・リサイクル	38
生産 汚染予防	42
非生産	46
お客様	48
物流・輸送	50

環境経営の基盤

環境マネジメントシステム	52
環境経営情報システム	55
環境経営評価手法	57
エコバランス(環境負荷の把握と目標設定)	59
コーポレート環境会計	61
環境教育・啓発	63
環境コミュニケーション	65
生物多様性保全(事業活動との関わり)	68
(環境社会貢献)	71

資料

報告期間・報告範囲	76
創業の精神・環境綱領・経営理念・環境報告原則	77
ワード別INDEX	78

■ imagio MF 7070RC の製品省エネ法不遵守についてのご報告

2008年12月、経済産業省より、再生複写機imagio MF 7070RC(2004年1月から2007年1月まで販売)のエネルギー消費効率が、省エネ法基準を満たしていないとの指摘を受けました。これは、再生機についての省エネ目標値の基準年度(新造機の発売時点の基準ではなく、再生機としての発売時点の基準が適用される)に対する認識の不徹底が原因であり、誠に遺憾と認識しております。今後は、開発から販売終了期間までの各基準値の遵守プロセスの改善を図るとともに、基準値以上の省エネ性能を実現する商品の開発に注力してまいります。